

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-235658

(43)Date of publication of application : 29.08.2000

(51)Int.Cl.

G07B 1/00

G07B 15/00

(21)Application number : 11-035495

(71)Applicant : NIPPON SIGNAL CO LTD:THE

(22)Date of filing : 15.02.1999

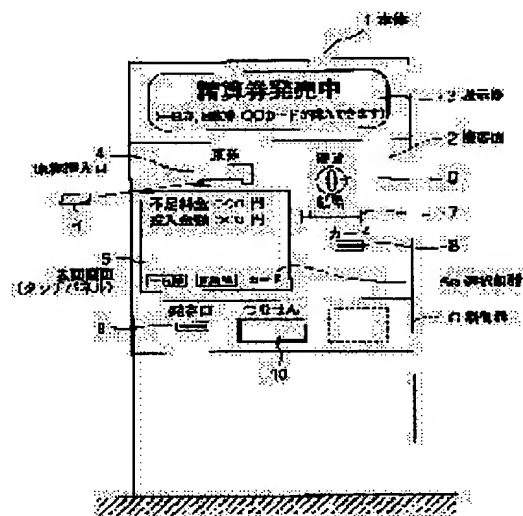
(72)Inventor : NISHINO TOMOHISA

(54) AUTOMATIC FARE ADJUSTING MACHINE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To purchase a one-day ticket, a coupon ticket, etc., when getting off by providing an issue controlling means, etc., issuing a using ticket obtained by subtracting the used portion of this time from a using ticket on condition that an amount meeting the shorted fare of the railroad line of another company and the purchasing amount of the using ticket is fed.

SOLUTION: When a ticket A is judged to be effective and adjusting processing is possible, a group of the selecting buttons 5a of the one-day ticket, the coupon ticket and a card which can be utilized at the railroad line of its own company is displayed on the display screen 5. Then, when a user depresses the display button of the coupon ticket and feeds an amount of money meeting the fare of the coupon ticket from a station (a) to a station (b) of the line of own company and the shortage portion of the railroad line of another company into a coin feeding port 6, etc., a CPU issues an adjusting ticket and a number of tickets which is smaller by one for the using portion of this time from a ticket issuing portion 9. Consequently the user can leave the station (b) by using the issued adjusting ticket and can utilize the railroad line between the station (a) and the station (b) by using the issued coupon ticket.



特開2000-235658
(P2000-235658A)
(43)公開日 平成12年8月29日(2000.8.29)

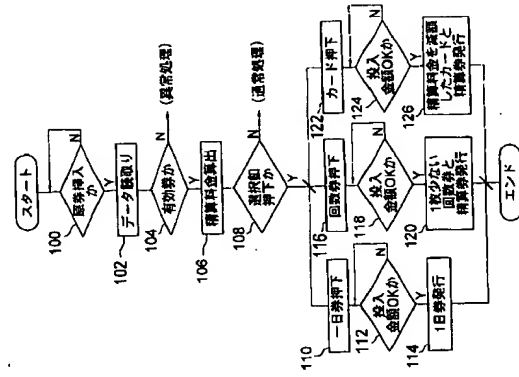
(51) Int. Cl. ⁷ G 0 7 B 1/00 15/00	振別記号 F I G 0 7 B 1/00 15/00	データベース(参考) 3E027 J
審査請求 未請求 請求項の数 1	OL (全 4 頁)	
(21) 出願番号 特願平11-35495 平成11年2月15日 (1999. 2. 15)	(71) 出願人 日本信号株式会社 東京都千代田区文の内3丁目3番1号 西野 智久 (72) 発明者 栃木県宇都宮市平出工業団地11番地2 日本信号株式会社宇都宮事業所内 (74) 代理人 100079201 井理士 石井 光正 Fターム(参考) 3E027 DA04 DA05 DA08	日
(22) 出願日		

(54)【発明の名称】自動精算機

(57)【要約】

【課題】 自社株側で利用できる——日乗車券や回数券等の利用券を購入できるようにする。

【解決手段】他社株から改札口を通過することなく自動に乗車できるときその他社株領域の駅に設置される自動清算機である、前記他社株において利用できるとき乗車券、回数券、あるいはプリペイドカード等の利用券を選択する選択手段と、前記利用券が選択されたときに、前記他社株の不足料金及びその利用券の購入金額を補った金額の金銭が投入されたときに条件に、その利用券から今回の利用分を減じた利用券を発行する発行制御手段とからなる。



【雑誌論文の範囲】

【請求項1】 他社線から改札口を通過することなく自社線に乗り車できるときその自社線側の駅に設置される自動精算機であって、

前記自社株において利用できる一日乗取券、回数券、あるいはプリペイドカード等の利用券を選択する選択手段と、

前記利用券が選択されたときに、前記会社株の不足料金及びその利用券の購入金額を消す金額の金銭が投入されたことを条件に、その利用券から今回の利用分を減じた利用券を発行する発行制御手段と、

【発明の詳細な説明】

【0001】
【発明の属する技術分野】本発明は自動精算機に係り、特に、他社線から自社線に改れ通路を通過することなく乗車できるときの、その自社線側の駅に設置される自動精算機に関する。

[0002]

【従来の技術】近年、利用者の便を図るために、自社線から他社線へ、またその他社線から自社線へ相互乗り入れができるようになってきている。

【0003】このように相互入力ができ、密接におこなわれる精算処理は、自動精算機の本体（以下「本体」といふ）に精算原簿が導入され、その精算原簿表に記録されているデータが取り込まれ、その記録されたデータに基づいて、本体の記憶装置までの不足金（精算料金）が算出されるように構成されている。そして、その算出された精算料金と現金（プロペイタカード等）からカード額面（精算料金と現金との差額）を算出し、その結果として、精算金が本体に入力される。したがって、利用者（旅客）による精算されていく。したがって、精算券が発行されることとなる。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の自動換算装置は、本体が低価でされている自社株内で一日乗車を利用できるように、その自社株内で回数券として利用できるように、自社株内で利用したときに何らかの特典を受けられる場合、他社株から自社株に乗りかたの特典を受けられる場合、他社株から自社株に乗りかたの特典を受けられないという不都合があった。

【0005】図4の商標図を用いて説明すると、A社株主（他社株）とB社株（自社株）とが乙族で相互乗入れを行っており、この場合、A社株の甲族から乙族まで消たとき、丙族ない乗車券で入籍し、B社株の丙族で帰還する不足分B社株株主の乙族から丙族までの乗車料金との合計金額を本体に投入することを条件に帰還乗車券が発行される。

【0006】したがって、利用者がB社線において一日中、乗降自由な一日乗車券を購入したい場合、B社線の乙駅から丙駅までの回数券を購入したい場合、あるい

(2) 特開2000-235658

は、B社様で使用可能なブリペイドカードやストアードフェアカード(SFカード)を購入したいときは、乙駅で一旦降車し、その乙駅で上述の一日乗車券を購入しなければならぬ不便があった。

【０００７】そこで、本発明は、上記欠点を解決するた
めになされたものであって、その目的は、陸軍時に一日
乗車券や回数券等を購入することのできる自動清算機を
提供することにある。

【000】

【課題を解決するための手段】本発明に係る自動精算機は、上記目的を達成するために、他社から改札口を通過することなく自社線に乗りこえるときのその自社線側

の駅に設置さ

いて利用できる一日乗車券、回数券、あるいはプリペイドカード等の利用券を選択する選択手段と、前記利用券が選択されたときに、前記他社株の不足料金及びその利用券の購入金額を満した金額の金銭が投入されたことを条件に、その利用券から今回の利用分を減じた利用券残額を有する発行制御手段と、を有することを特徴としている。

[000]

[illegible]

(巻一)では

2等のカードを選択するための選択画面5 a を表示して、
 タップしたカードからなる表示画面5 b、精算料金を履歴で
 行うときの硬貨投入口6と、この精算料金を紙幣で行う
 ための紙幣挿入口7と、この精算料金をプリペイドカー
 ド等のカードで行うときのカード挿入口8とが設けられ
 ている。また、接客面2の下部には、精算券、一日乗車
 券、回数券、又はカードを券出すための券券口9と、
 精算料金の釣銭又は払戻金を放出する返却口10とが設
 けられ、図面Cは、本体1を統括的に制
 御するマイコンロコユニット11からなる制御部である。

[0010]

であって、ROM20に格納されているシステムプログラム及びRAM21aに格納されているワーキングデータと、また精製された料金金の料金を格納される料金データベース21bを用いて演算処理する中央処理部(CPU)22を中心に構成されている。このCPU22には、I/Oユニット23を介して原券挿入口から挿入された精製原券に記録されているデータを読取又は新たなデータを書き込むための磁気ヘッド(図示せず)等を備えた原券処理ユニット24と、格納口9に収容する精製券

券处理二二、

